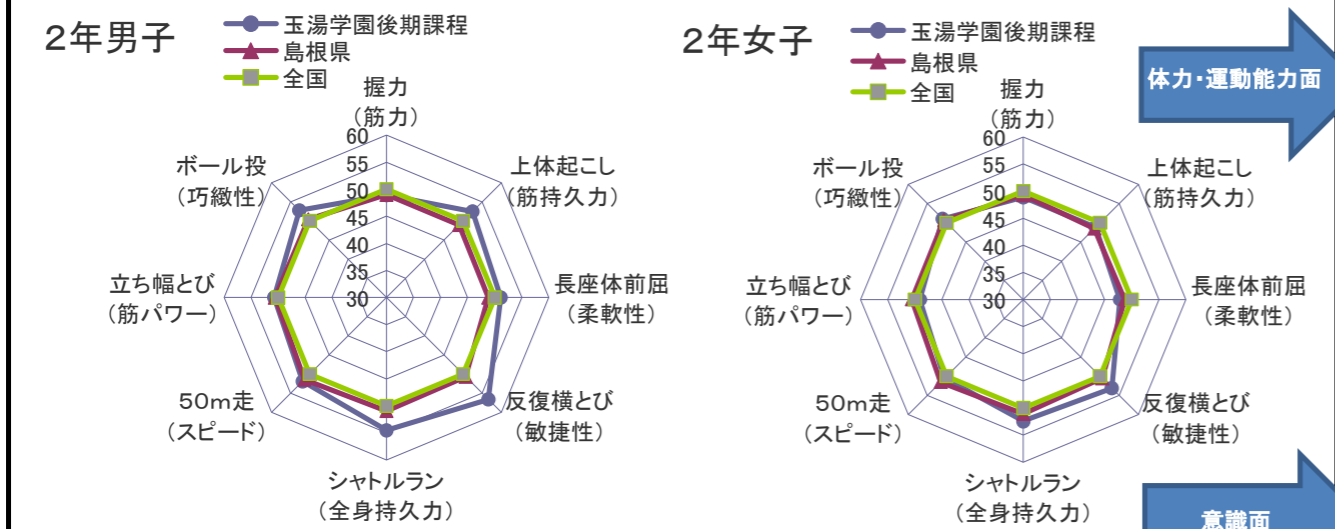
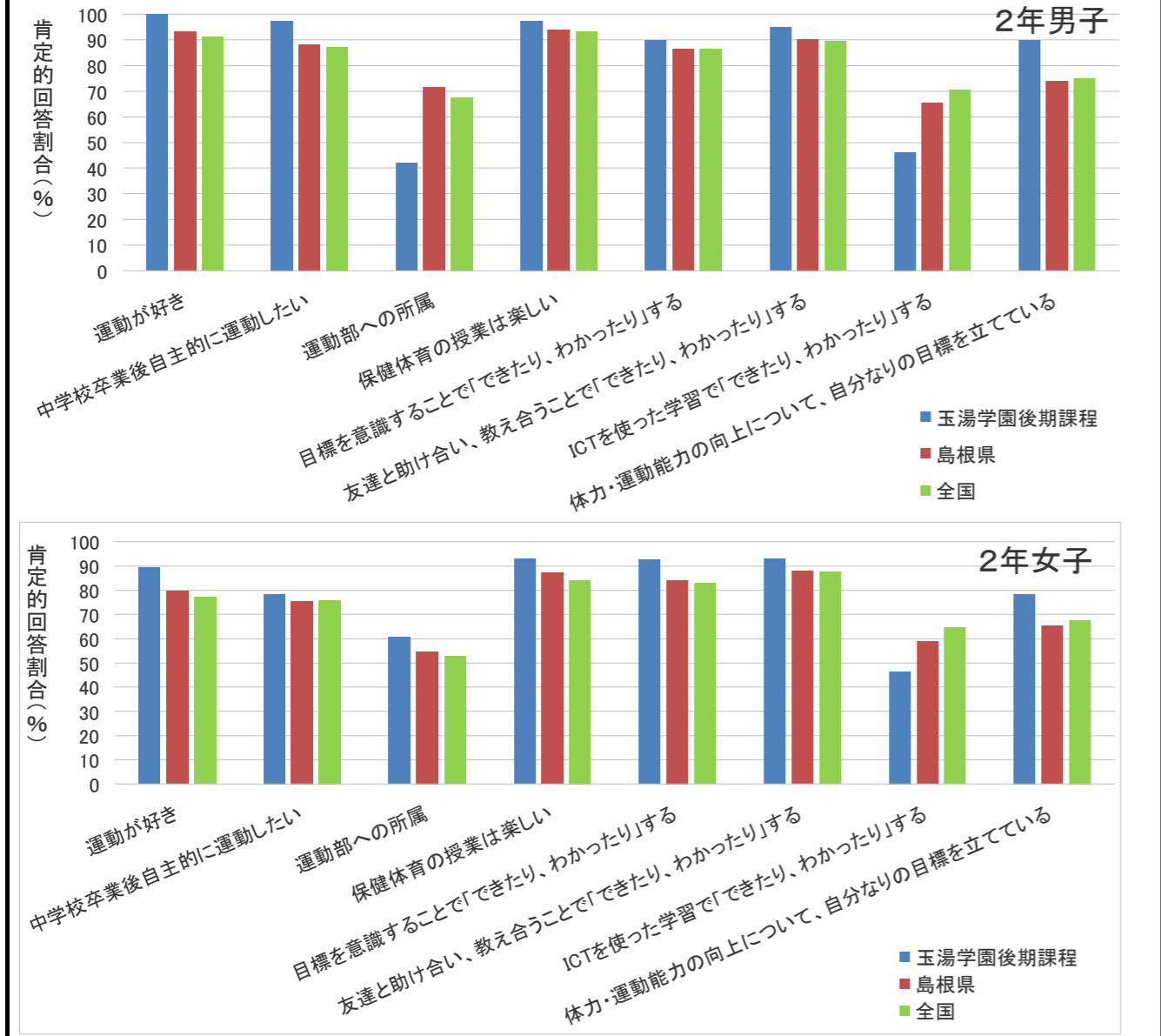


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-1.1	2.4	1.1	6.6	4.5	1.9	0.7	2.8
女子	-1.1	-1.1	-2.2	3.1	2.4	0.6	-0.9	1.1

Legend: [-5p以上] 弱み, [-5~-2p], [-2~0p], [0~2p], [2~5p], [5p以上] 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	8.8	10.1	-25.5	4.3	3.2	5.4	-24.4	14.8
女子	12.1	2.6	8.0	8.7	9.8	5.2	-18.3	10.8

Legend: [-7%以上] 弱み, [-7~-3%], [-3~0%], [0~3%], [3~7%], [7%以上] 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

- ① 自校の体力的課題の解決に向けての授業での工夫・改善
  - ・体力・運動能力調査の取り組みについては、各自の昨年度の記録を確認し、今年度の目標記録を設定したうえで取り組むことにより、意欲を高める。
  - ・記録の伸びない生徒へのアドバイスと、体力・運動能力の向上と各領域での運動特性の関連づけをより具体的に生徒に理解させ、取り組ませたい。
- ② 運動の二極化を防ぐための授業での工夫・改善
  - ・運動への苦手意識をもっている生徒については、学習カードに各自の課題や取り組みについて記入することにより、他との比較ではなく自己の課題を明確にし、運動への意欲や動機づけにつなげたい。
  - ・男女混合、男女別、スキル別など様々な形態のグループ学習を工夫することにより、運動の楽しさに加え、協力、教え合い、交流などの楽しさを、授業の魅力としていきたい。
- ③ 授業の過程で、知識を活用したり、表現したりする場面設定の工夫・改善
  - ・学習カードへの記入については、文章表現の技能によって左右される。記入の方法や記入欄について更に工夫したい。
  - ・学習カードの「できる」「できない」の表現が、自己の課題解決につながる、より詳細で具体的な表現になるよう指導したい。
  - ・ICTの利用については、主に2学期から長距離走でのペース計算、参考動画の提示、技能向上、評価のための運動場面の動画撮影などで利用したが、さらに効果的な利用方法を模索していきたい。